

# 言語学習についてのBELIEFS把握のための試み

—BALLIを用いて—

橋本 洋二

## 要 旨

言語学習者に影響を与える要素として、学習者ストラテジーが注目され、どのようなストラテジーがあるのかという分類と体系化が行なわれるようになって久しい。本稿では「どのような学習者が」どのストラテジーを用いるのかという点に着目し、そのために学習者を分類する指標として、学習者が意識／無意識のうちにもっている言語学習についての種々のbeliefsをとりあげる。beliefsとは、具体的な学習行動の背後でそれを支える心的態度や信念をいう。ここでは、学習者のbeliefsを把握する道具としてのBALLIを用いた実践の報告と、今後のbeliefs研究への課題を提示する。

〔キーワード〕 BALLI beliefs BALLI討論 種類別BALLI

## 1. 言語学習と言語学習についてのbeliefs<sup>1)</sup>

従来の学習者ストラテジー研究は「どのような学習者ストラテジー」があるのかという、ストラテジーの分類と体系化が中心であり「どのような学習者」がそれらを用いるのかという点に関しては中心的な課題として扱われてこなかった。しかし、ストラテジー研究の目標の一つとして、言語学習活動の効率化や学習者トレーニング<sup>2)</sup>ということを考えるならば、後者に関する研究も必要なはずである。各々のストラテジーが効果的な意味をもつのはどのような学習者に対してか、ということが問われるからである。

本稿では、学習者にはどのような分類が考えられるのか、その分類のための指標として、学習者たちが言語学習活動に対して意識的・無意識的に抱いている種々のbeliefsについてとりあげる。学習者のbeliefsを把握することは、教授者・研究者にとってはストラテジーや実際の学習行動と、それをささえて学習者の内面にある心的態度との関係を把握するという意味があり、一方、学習者にとっては自らの学習行動を客観的に把握し、学習の改善がしやすくなるという意味がある。

言語学習と、言語学習についてのbeliefsの関係については学習者ストラテジーの研究のなかでとりあげられてきている。例えば、Wenden (1984) は、学習者が持っているbeliefs、つまり、第二言語の学習という課題を達成するためにもっともよい、と学習者たちが信じていることに基づいて学習者を3つのグループに分類した。そして、そのうえで各々のグループの学習者の言語学

習へのアプローチの仕方の違いを報告している。それによると、学習者のbeliefsとその使用するストラテジーとの間には一定の関係があったという。これは言い換えれば、学習者のbeliefsを調べることで、ある程度、その学習者の使用するであろう、あるいは、その学習者の知っているストラテジーについての予測ができるということでもあるが、更に、この逆を言えば、その学習者の知らないストラテジーの予測にもつなげられるということでもある。ここから、学習者のbeliefsを調べることが、学習者トレーニングにも役立てられる可能性が見えてくる。

このことを示唆して興味深いのが、Horwitz (1987) による調査の報告である。このなかでHorwitzは、ある成人ESL (English as a Second Language) クラスにおける学習者のbeliefsについて調べているが、そのなかで教師が学習者のbeliefsを把握しておくことの重要性を指摘している。というのは、学習者のbeliefsの違いによって、学習者の教室活動への取り組みや、言語スキルにも大きな違いがみられるからである。ここからまた学習者の用いるストラテジーとbeliefsとの関係についての研究の必要性を説いている。さらに、学習者の認知スタイルや、態度・動機などの情意的な諸要因に比べてbeliefsは変化させることが容易であり、学習者のbeliefsのうち言語学習の阻害要因になっている (と判断される) ものをとりのぞくことができれば、ESLクラスの学習を促進できるのではないかと述べている。

他にもHorwitzは、教師のbeliefsを調べれば、教師と学習者の間のbeliefsのずれや、また、教師が特定の教室活動を選択する理由・根拠なども見えてくるのではないかとしている。この後者の視点からは、教師が自己の教授活動を振り返り、改善していくための利用法も考えられる。

さて、上記のHorwitz (1987) の調査で用いられていたのが、本稿でも扱うBALLI (Beliefs About Language Learning Inventories<sup>3)</sup>、資料1-a参照) である。

BALLIは具体的には、言語学習についての様々な信条・意見の、一種のリストからなる (資料1-a参照)。このリストは、例えば、“The most important part of learning a foreign language is learning vocabulary words.” のように言語学習についての種々の信条からなっている。BALLIのオリジナルであるHorwitz (1987) では、それらの信条の項目は次のような五つの領域に分類される合計35項目からなっていた。

- (1) 言語学習に対する適性 (Aptitude)
- (2) 言語学習の難易度 (Difficulty)
- (3) 言語学習の性質 (Nature)
- (4) コミュニケーション・ストラテジー
- (5) 言語学習の動機 (Motivation)

Horwitzは、これら5領域の信条・意見についてのアンケートを行なうことによって学習者や言語教師が意識/無意識のうちにもっている種々のbeliefsを浮かび上がらせようとしている。

このようにBALLIは、言語学習についての様々な信条・信念や思い込みについて調べようとするものであり、その目的を要約して言えば、次のようになる。すなわち教師・学習者の双方が、言語学習に対してもっている態度や意識、思っている種々の事柄などを自覚化し(更に、教師が、その教師・学習者間のずれを認識することによって)、学習者ストラテジーとbeliefsとの関係を明らかにすることである。そして、さらには教師の教授活動に役立て、学習者の学習を促進することであるといえよう。

しかし、BALLIの可能性や分析の枠組み・運用方法については、今後の実践と研究が待たれる、いわば、有効利用のためのソフトは未確立という状態である。従ってBALLIによる精密な分析のための枠組みを作ることは、ここでの目的ではない。ここでは学習者のbeliefsの精密な抽出の道具としてではなく、学習者の大まかな特徴を教師が把握するために容易に使える一つの道具としてBALLIを位置づけ、そのためのBALLIの運用方法を模索することを目的とする。

## 2. BALLIの実践報告

筑波大学留学生センター予備教育課程(以下、Aコース)は、原則として日本語未習者に対する6ヶ月の集中コースであるが、筆者は、1991年春学期(以下、91S)より当課程において、クラス・ミーティング<sup>9)</sup>(以下、CM)という活動を同僚教師とともに行なっている<sup>9)</sup>。CMは、教師と学習者によって行なわれる、いわゆるawareness activityの一種であるが、そのなかにBALLIを用いた活動も取り入れている。

ここでは、91S、1991年秋学期(以下、91A)、1992年春学期(以下、92S)の三つの学期にわたって実施したBALLIアンケートとBALLI討論の報告を行なう。

### 2. 1 BALLIアンケート

#### 2. 1. 1 実施時期、実施方法など

##### (1) 実施時期:

いずれの学期でもコース開始直前/直後の時期に実施した(91Sのみ、開始後、1ヶ月)。91Aと92Sでは、コース終了直前の時期にも実施したが、コース中のbeliefsの変化については、本稿では取り扱わないので、結果資料はコース開始時のもののみとする(資料3参照)。

##### (2) 信条項目:

62の信条項目のうち、35はHorwitzのオリジナル版にあったもの、25は筆者の参加した1990年度国立国語研究所長期専門研修の実習コースで用いたもの、そして、2は当センターでさらに、つけくわえた追加項目である。

##### (3) 解答用紙:

アンケートへの解答の仕方はHorwitzにならい、信条項目のそれぞれに、Strongly

agreeからStrongly disagreeまでの5スケールからなる解答欄に印をつけさせるという方法をとった(資料1—b参照)。つまり、それぞれの信条項目に「つよく賛成する」ならば解答欄の(1)のところに、「つよく反対する」ならば(5)に印をつけるという具合である。

(4) 実施方法：

CMのオリエンテーション後の、最初のCM活動の時間に、次項で説明するBALLI討論を実施できるように、いずれの学期でもコース開始直前、もしくはCMのオリエンテーション時に、項目用紙と解答用紙を配布した。その際、学習者にはBALLI実施の目的として「日本語を勉強するというのは、どういうことなのか、どういう体験なのか、一人一人が考え、また、みんなでも考えてみること(BALLI討論)。日本語を勉強するというのは、具体的に、どんな特徴—困難や楽しさetc.—を伴うことなのかを、クラスメートと話し合い、互いの不安や意見なども分かち合うこと。これらのことによって、互いの日本語学習の役に立てること。そしてまた、教師の側から言えばみんなの意見、感じていることを把握し、コースを改善するための参考資料を得ること」などを述べた。その後、解答用紙の記入の仕方などを説明し、翌日もしくは数日中に提出するよう指示した。

(5) 解答者：

先にも述べたように、今回報告するBALLIの対象者は、Aコース(91S~92S)の初級日本語学習者で、人数は46である<sup>6)</sup>。当コースの学習者の特徴としては、彼らの多くが国費留学生であり、各自が専門の研究領域を持ったプロフェッショナルであるということであろう。

## 2. 1. 2 結果および考察

BALLIアンケートの集計結果は、資料3のとおりである。結果には、特に統計的処理はしていないが1. で述べた、学習者の大まかな特徴を教師が把握しておく、という目的のためには、むしろそのような処理よりも、一人一人の学習者の解答状況を見て、その学習者についての判断をすることのほうが有用であろうと思われる。また、今回ここに報告するのは、46名分の資料であり、統計的処理を施すのは(あるいは、統計的処理になじむかどうかの検討は)更に多くのサンプルを得てからの課題としたい。なお、前述した追加項目の多くは、「教室活動や教師—学習者役割に関する項目」、および「文化的要素に関する項目」であったが、項目の記述方法などに必ずしも意味が明瞭でない部分も含まれているため、これら2領域に関しては、今回は結果の分析は省略する。

BALLIアンケートから得られた結果を信条項目の領域別にまとめると、概ね次のような傾向が伺われた。

### (1) 言語学習に対する適性：

これは、各学習者が、言語学習に必要な一般的適性や、自分の言語学習適性について考える領域であるが、日本語学習の障害になりそうな否定的な傾向はほとんど伺えなかった。確かに「大人より子どもの方が外国語を学習するのはやさしいと思う〔項目No=1、解答値平均=1.67。〕<sup>7)</sup>」と考える学習者の方が圧倒的に多く、また、「私は、外国語習得のための特別な力を持っている」〔25、2.93〕に賛成する学習者の数も必ずしも多くない。しかし、たとえば、自分にはそのような特別な力はないと答えている者11人のうち、10人までもが「どんな人でも、外国語を学ぶことができる」〔58、2.20〕という信条に対して、1もしくは2、つまり、賛成すると答えているなど「特別な力」がないことと、外国語習得ができないこととは、別のことであるという受け止め方をしているようである。

もちろん、BALLIは学習者のbeliefsを調べた結果「何も問題がありませんでした」ということを目的としているのではない。むしろその逆で、「問題」のありそうな学習者を見つけ、必要であれば何らかの対応をすることが必要なのではないかと思われるが、そのことについては、次のBALLI討論の項で述べる。

### (2) 言語学習の難易度：

この領域における学習者たちのbeliefsを要約すると「言語の中には、やさしいものとそうでないものがあるが〔3、2.07〕、日本語は後者の方だ〔4、1.98〕。しかし、私は、日本語がうまく話せるようになるだろう〔7、2.02〕」ということになるだろう。これは、大変興味深い傾向のように思える。というのは、学習者たちは日本語は難しいと感じており、これは一見日本語学習に対してマイナスにはたらくbeliefsのように思える。しかし、その一方で、それでも自分は日本語がうまくなるだろうというbeliefsももっているということは、コース中の日本語学習の仕方、パフォーマンスや、教師の対応、その他種々の環境によって、これらのbeliefsは「日本語は難しい。だから、できない」となっていくのか、それとも「日本語は難しい。でも、だいじょうぶ」あるいは「日本語は難しい。だから、がんばろう」となっていくのかの微妙なところにあるように思えるからである。

### (3) 言語学習の性質：

この領域は、(4)のコミュニケーション・ストラテジーの領域と並んで、実際の言語学習活動ともっとも直接の関係があり、したがってまた、言語学習への影響も一番大きいことが予想されるbeliefsの領域であろう。つまり、学習者がどんなbeliefsを持っているかによって、日本語学習が促進されたり逆に阻害されたりということが起こりやすい領域だということである。したがってHorwitzのいうようにbeliefsは変化させることが可能であり、また教師が学習者のもっているマイナスのbeliefs

をとりのぞくことができるのであれば、教師側の対応によって、学習者の学習を促進できる部分でもある。

また、言語学習活動と密接な関係があるだけに、教師側からすれば、教師と学習者双方のbeliefsの違いに注目することも有益であろう。

さて、言語学習の性質、つまり言語学習とは一体どのような性格をもったものなのか、ということに関する学習者たちのbeliefsは、どのような特徴があるだろうか。これは、ほとんどの学習者に共通して言える部分と、個々の学習者によってまちまちである部分とに分かれた。前者の方は例えば「日本語を話すためには、日本文化や〔10、2.13〕、非言語的な部分も大切だ〔21、3.71〕。また、日本語の学習は日本であるのがよい〔17、1.30〕」といった傾向である。一方beliefsが分かれた、あるいは「賛成も反対もしない」という解答も多かったのは、言語学習で何が一番大切か、ということについてのbeliefsであった。「語彙〔29、2.80〕」か、「文法〔37、2.65〕」か、あるいは「翻訳〔47、3.24〕」のいずれが一番大切かについては、語彙と文法については、ともに、重要視する傾向が比較的強かったのに対し、翻訳についてはそうでないものが多かった。しかし、これはあくまでも傾向であり、学習者によっての解答値のバラツキも大きかった。

ところで、学習者たちに日本語を教える日本語教師側は、言語学習の性質についてどのようなbeliefsを持っているだろうか。筆者は今回の報告に合わせて、当センターの日本語講師に対しても学習者に対してのものと同様のBALLIアンケートを実施した<sup>8)</sup>。それによると、教師と学習者たちの言語学習の性質についてのbeliefsの間には、大きなずれは見られなかった（〈表1〉参照）。教師側のbeliefsの傾向を特にあげるならば「日本文化や〔10、1.54〕、非言語的な部分も大切だ〔21、4.38〕」というbeliefsが、学習者側以上に明確であること、言語学習で何が一番大切かということについては「これが一番大切だ」という決め方は、あまりしていないこと、ただし「翻訳が一番大切〔47、4.15〕」だという項目については、学習者以上に明確に否定していること、などである。

〈表1〉 学習者と教師の、「言語学習の性質」についてのbeliefsの比較（数値は、各々の解答値の平均）

項目No.	10	17	21	29	37	47
学習者	2.13	1.30	3.71	2.80	2.65	3.24
教師	1.54	2.00	4.38	3.31	2.88	4.15

(4) コミュニケーション・ストラテジー：

コミュニケーション・ストラテジーについては、どうであろうか（〈表2〉参照）。まず、日本語で話す、ということに関して言えば「いい発音で話すことは大切だ〔9、1.98]」としながらも「正しく言えるようになるまでは、何も言ってはいけない〔14、4.11]」という項目に対しては、否定的解答が多かった。しかし、日本語がわからないときに「その意味を推測しても構わない〔23、2.61]」かどうかについては、意見がわかれ、反対する学習者も少なくなかった。これは、教師側の解答値平均1.38と比べると対照的である。しかしその一方、教師側は日本語学習の初期段階での誤用訂正を重要視しており〔36、1.75〕、学習者のbeliefsとのずれが伺える〔36、2.80〕。教師側でも「正しく言えるようになるまでは、何も言ってはいけない〔14、4.69]」という項目に対して、学習者以上に否定的解答が多かったことをみれば「たくさん日本語で話して、まちがいを犯したり、ことばの意味を推測したりしてもよいが、その分、誤用訂正もしなければならない」というのが、教師側のbeliefsの傾向であろうか。

また、日本語の練習方法として、「繰り返し練習〔30、1.28]」や「カセットテープ〔45、2.00]」などを使った練習については、教師と同様重視しているようである。

〈表2〉 学習者と教師の、「コミュニケーション・ストラテジー」についてのbeliefsの比較  
(数値は、各々の解答値の平均)

項目No	9	14	22	23	30	35	36	45
学習者	1.98	4.11	1.87	2.61	1.28	2.83	2.80	2.00
教師	1.92	4.69	—	1.38	1.46	—	1.75	1.79

(5) 言語学習の動機：

日本語を学ぶ動機は、非常に高く、しかもはっきりしていた。一人を除いて「日本語が上手になりたい〔53、1.26]」と感じており、それは「自分の国の人々が日本語を話すことを重要だと感じている〔32、3.20]」からではなく、「自分の専門に大変役に立つ〔61、1.63]」からであり、また「日本人の友だちがほしい〔54、1.33]」からである。

## 2. 2 BALLI討論 (BALLI Talk)

既述のように、BALLIの運用の仕方には、定式はない。したがって、ここでも筆者らの試みた方法を述べる。

## 2. 2. 1 実施目的、実施時期・方法

### (1) 実施目的：

BALLI討論の大きな目的は、BALLIアンケートで学習者たちに考えてもらった日本語学習についてのbeliefsをさらに意識化させ、そのことにより日本語学習の参考になるような視点や学習方法、ストラテジーなどを彼らに意識してもらうこと、獲得してもらうことである。また、自分以外の学習者のbeliefsや、言語学習に関係のある諸観点・側面に触れることなどによって、それまで気づいていなかった言語観や言語学習観を意識化し発見させていくことである。しかし、現在のところ、このような目的が十分に達成できているとは言いがたい。したがって、有益な討論ができるようにするための様々な工夫も今後の課題である。

また、先にBALLIによって「問題」のありそうな学習者を見つけ、それへの対応をすることも必要なのではないかと述べたが、BALLIアンケートの結果のなかで、教師が「問題」だと判断・推測したことや、疑問に感じたことなどがあれば、それらについて話し合ってみることもできるであろう。

さらに、BALLI討論の副次的な効果として、学習者にとって不安やフラストレーションの多いコース初期に、日本語学習についてクラスメートと討論をすることで、学習者間の信頼関係作りや、精神的・情緒的緊張をほぐすことなども期待できよう。

### (2) 実施時期・方法：

BALLI討論は、BALLIアンケートの記憶が残っているうちに行ないたい、あるいは、できるだけコース中の早い時期に行ないたい、などの理由から、いずれの学期でもアンケート実施直後～一週間以内に行なった。

BALLI討論での使用言語は、学習者の共通言語である英語とした。それは、日本語による話合いが実際問題として無理であり、また、ここでは日本語の学習自体が直接の目的ではないからである。

具体的な手順としては、学習者から回収したアンケート結果をクラスごとに教師が把握することが、まず、はじめにくる。その時、教師は各学習者の特徴の把握に努めるとともに、次の点にも留意する。すなわち、各学習者にいろいろな視点をあたえ、そのbeliefsを相対化させるという目的にそって、それぞれのクラスで話させてみたいポイントを整理・列挙することである。例えば、日本語学習や日本語で話すことについて、過度に不安を持っていたり難しいと思っていたりする学習者が多いように見られる場合は、項目4、14、35などについて学習者の意見を聞いてみる事が考えられる。それによって学習者に、不安なのは自分だけではないことや、いたずらに難しいと感じて気後れする必要のないことなどに気づかせるため

ある。その他にも例えば、日本語学習のストラテジーについてのbeliefsを交換させることなども考えられよう。

このような、教師側の準備が整ってから、BALLI討論に臨むが、91S・91Aと92Sでは弱冠実施方法が異なったので、まず、前者の方から述べる。91S・91Aでは話し合いの開始にあたってまず、各学習者にBALLIアンケートの解答用紙(答を記入してあるもの)を返却する。これにより、各学習者は自分がそれぞれの項目に対してどのように答えたかを見ながら話し合いをすることができる。そうしておいて、次に話し合いは英語で構わないことを告げてから話し合いに入る。この時できるだけ学習者の自発的発言を元にした話し合いにしたいという意図から、特に話し合いに対するコントロールはせず、学習者たちの話したいことを話したいように話させるという原則的な方針をとった。そのうえで、学習者からの発言がなくなったところで、あらかじめ列挙しておいたポイントなどに話を移すようにした。教師として話し合いの最終的な結論を出したり、あるいは、それを学習者に対して求めたりはしなかったが、学習者から求められれば、質問やアドバイスには答えるようにした。しかし、その場合でも「私はこう考えるがみんなはどう思うか」式の答え方をするようにした。

さて、92Sでも、大体においてこれと同様の方法で行なったが、解答用紙をそのまま返却することはやめた。その理由は、62もの項目に対する解答結果を見ながら話し合うとなると、話の焦点があまりにも拡散しすぎて、短い時間では足りなくなってしまうからである。そこで92Sでは解答用紙の代わりに①言語学習に対する適性、②言語学習の動機、③言語学習と文化の3領域の信条項目の抜粋とその各々に対する各学習者の答を記入した用紙を配った<sup>9)</sup>(資料4参照)。

## 2. 2. 2 結果および考察

3つの学期全体の傾向としては、以下のような点に関する発言が多かった。すなわち、

- ①日本人とのコミュニケーションのとり方や、学習者にとって異質なものとしての日本の(生活)文化とそれとのつきあい方について
- ②日本語上達のためには何が必要か、また、その手段としての“practice”の重要性や“practice”の方法について
- ③教師やコースへの希望・要望・質問

などである。

以下に、実際の話し合いのなかででたことなども含め、BALLI討論に関する考察を、領域別に述べる。

(1) 言語学習に対する適性：

BALLIアンケートの項(2. 1. 2.)でも述べたように、学習者たちは、必ずしも自分に言語学習者として優れた素養があるとは感じていないが、それにもかかわらず、多くの学習者は日本語学習は可能だという前向きのbeliefsを持っている。学習者たちの次のような発言は、その際の彼らのbeliefsをささえているものように思える。

①明確な動機があればよい

②リラックスして楽しみながら勉強できる環境があればよい

③努力をすれば、素質がなくても大丈夫

また、ほとんどの学習者が大人よりも子どものほうが言語学習が得意だと考えているが、それに対しては「なぜ、そう思うのか」、「大人と子どもとは何がどう違うのか」、「子どものよい点で、自分たちも真似できるようなことはないか」などといった問いかけをすることによって、学習者のbeliefsの相対化を促すことも考えられる。

(2) 言語学習の難易度：

アンケートの結果や討論中の発言からも、多くの学習者が6ヶ月の日本語コースを前にして日本語は難しい、という思いを抱いているように思われる。しかし、このことをクラス全体で共有することによって「不安なのは、自分だけではない、みんな大変なんだ。クラスみんなと助け合いながらがんばっていこう」という気持ち、つまり、目標、課題の共有へとつなげることが却ってクラス全体の活性化に結びつくのではないだろうか。実際、このような意見が一人からでると、続けて同じような意見が続き、全体の雰囲気や和やかになることも何度かあったようである。

(3) 言語学習の性質：

前節BALLIアンケートの項でも述べたように、(3)言語学習の性質の領域と(4)コミュニケーション・ストラテジーの領域は、実際の言語学習活動ともっとも直接の関係のあるbeliefsの領域であることから、BALLI討論で取り上げる意義も大きいと思われる。例えば、身振り・手振りや文化を軽視している学習者や、翻訳をしなれば安心できなかったりする傾向のある学習者が、他の学習者の意見に触れて自分のbeliefsを相対化するきっかけをつかむことなどはつよく望まれることであろう。

(4) コミュニケーション・ストラテジー：

アンケートを見たところでは、コミュニケーション・ストラテジーについてもAコースの学習者たちは積極的に日本人に働きかけていく傾向を示しているが、やはり中には過度に臆病になったり不安を感じたりしているものもいる。しかし、そのような学習者でも他の学習者の意見を聞いて、それまで気づいていなかったことに

気づいたり、あるいは、気にしすぎていたことでもそんなにこだわらなくてもよいと考え直したりすることなどが期待される。実際、「正しい発音」や「正しく言えること」などについてはいくつもの意見が出、そのような効果も十分期待できるのではないかと思われる。

(5) 言語学習の動機：(省略)

### 3. 今後の運用に向けて

以下に、今後のBALLIの運用のために検討すべき諸点を列挙する。

#### 3.1 項目の検討

(1) 領域：

今回ここで報告したBALLI(以下、BALLI 91A)には、7つの領域にわたる62の信条項目が含まれているが、これは、いかにも多すぎるように思われる。今後は、何のためにBALLIを用いるのか、そのためにはどのようなbeliefsについての情報が必要なのかを明確にしたうえで、beliefsの領域を設定し項目を決めていくことが必要であろう。

また、学習者によって項目を様々に変えてみることも考えられる。例えば学習者が漢字系か非漢字系か、あるいは初級か中級か、さらにどこで学習しているのか(日本国内か国外か)ということや学習者の性別、年齢、母語などがポイントになってくるであろう。学習者の使用可能言語が常に英語とは限らないことを考えれば、諸言語版のBALLIの作成も必要になってくる。

(2) 項目の「意味」：

Horwitz版の項目も含め、BALLI 91Aには項目によってどういう立場で答えればよいのか、つまり、自分のこととして考えるのか、一般のこととして考えるのか不明確なものがある(項目24など)。このように、項目の意味が曖昧に解釈される可能性があると思われたことも、現段階では統計的な処理には馴染まないのではないかと判断した理由の一つであるが、今後は、この点についても明確化を図りたい。

#### 3.2 運用方法の検討

3.1でbeliefs領域の設定について言及したが、ここでは実際にBALLIにはどのような使い方が考えられるか、について考えたい。

(1) (テーマ別の) BALLI討論：

例えば「会話BALLI」、「ストラテジーBALLI」といったように、言語学習のなかでも特定の領域に関係のあるものに限定した小さいBALLIアンケートを作っておき、学習者やカリキュラムに応じてどれを用いるかを決め、それに基づいて種類別・

目的別のBALLI討論を実施することなどはすぐにも実施に移せよう。ほかにも「漢字BALLI」、「読解BALLI」等々といったヴァリエーションが考えられる。

(2) フィードバック：

学習者から得た情報を教師側にフィードバックすることも重要である。クラス、教材、教授法、教師など、教授活動一般についての的確なフィードバックが得られれば、コースの改善やコースデザインの参考にもなるからである。

その他、コース期間中のbeliefsの変化やbeliefsとアチーブメントとの関係について調べても面白いかもしれない。

(3) プレースメント：

もし、BALLIによって学習者のタイプなどを把握することができるのであれば、学習者のプレースメントにも利用できるのではないだろうか。BALLIのみでプレースするというのではなく、従来のニーズ分析やペーパーテストから得た学習者情報と総合することで、よりの確なプレースメントが期待される。

(4) BALTI (=Beliefs About Language Teaching Inventories、教師用BALLI)：

Horwitzは、BALLIの目的の一つとして、教師と学習者の間のBeliefsのずれを教師側が認識することをあげているが、現行のBALLIは、正にBeliefs About Language Learning Inventoriesであり、教師には答えにくい部分があるように思える。例えば「日本語は難しい(項目4)」や「私は、日本語をととても上手にしゃべれるようになると思う(項目7)」等という場合、どのような立場で答えるのかといった問題である。

#### 4. おわりに

本稿で述べたことは、あくまでも当課程で実施したBALLIの実践から看取できたことの報告にすぎない。しかし、「BALLIによって、たとえばこういうことができるのか、考えられるのか」ということの像がいくらかでも提示できたとすれば、本稿の目的は達せられたと思う。

3. であげたように今後の問題は多いが、beliefsについて調べるうえで、また、beliefsと学習者ストラテジーとの関係について調べるうえで、BALLIには色々な可能性があるのではないだろうか。BALLIを有効に利用していくためにも大方の実践の待たれるところである。筆者としても、学習者の言語学習を改善するために日本語教師には何ができるのか、という観点にたって実践をすすめていきたいと思う。

#### 注

1) beliefsとは、ストラテジーを含めて、具体的な学習行動を、その背後でささえる心的態度や信念のことをいう。

- 2) 例えば、Dickinson (1987) は、学習者トレーニングを「どうやって正しい教材を用いるか、どうやって自分たち自身のことを評価するか、などなどのことを学習者に教えるために考案された活動」としているが、ここでは言語学習者の内省や、教師側などからの示唆やアドバイスによって、学習活動の改善を図っていくことを目的とする活動一般のこととする。
- 3) Horwitz (1987) によるBALLIは、言語学習に関係のある5つの領域にわたる35の項目からなっていた。本稿では、項目数・内容ともに変えているが、形式などは同じなのでBALLIという呼称をそのまま用いる。
- 4) 稲子・橋本 (1992) 参照
- 5) 本稿で用いるデータはすべて山本そのこ氏、稲子あゆみ氏他、筑波大学留学生センターの先生方との共同作業のもとに得た。
- 6) 91Aの学習者の数が少ないのは、解答記録の不備のため。
- 7) 以下、〔 〕のなかの数字は、同様に、〔関連のある項目No、解答値平均〕とする。ただし、「 」のなかの言葉は、該当項目の文言そのものではない。また、解答値平均に下線    が引いてあるものはAコース学習者の平均であることを、また下線のないものは当センター日本語講師のものであることを、それぞれ示す。
- 8) 筆者自身を含め、当センターの日本語講師13人からの解答を得た。講師用のBALLIは、学習者用のものの日本語版で行なった。信条項目もすべて学習者用のものと同様であったため、講師と学習者との日本語に対する立場の違い、すなわち講師側が日本人であり、また、教師であるという点に対する配慮が不十分であった。そのため、すべての項目についての結果をここで報告することはできない。
- 9) 当初は、残りの領域の項目についての項目領域別BALLI討論も実施する予定であったが、時間などの関係でできなかった。

#### 参考文献

1. 稲子あゆみ・橋本洋二 (1992) 「クラスミーティングから見えてくるもの」『日本語研修所紀要』第3号 (財)国際教育振興会日米会話学院
2. 岡崎敏雄(1990) 「日本語教育における学習者ストラテジーの研究に向けて——第二言語習得論と日本語教育の統合の領域の創出——」『広島大学教育学部紀要』第2部第38号 pp. 217-225
3. 岡崎敏雄(1990) 「日本語教育における学習者中心の指導の基盤の確立に向けて——学習者ストラテジーの体系と項目——」『広島大学教育学部紀要』第2部第38号 pp.227-233
4. 渡辺晴世(1990) 「学習者ビリーフとラーニングストラテジー——学習者からの言語学習に関する情報獲得の試み——」『日本語教育論集』7 国立国語研究所日本語教育センター
5. Dickinson, L. (1987) *Self-instruction in Language Learning* Cambridge University Press

6. Horwitz, E. K. (1987) 'Surveying student's Beliefs about language learning' in Rubin, J. & Wenden, A.(eds.)(1987) *Learner Strategies in Language Learning* Prentice-Hall International
7. Wenden, A.(1984) 'How to be a Successful Language Learner: Insights and Prescriptions from L2 Learners' in Rubin, J. & Wenden, A.(eds.)(1987) *Learner Strategies in Language Learning* Prentice-Hall International

[資料 1 - a]

## BALLI

Below are beliefs that some people have about learning foreign languages. Read each statement and then decide if you:

(1) strongly agree, (2) agree, (3) neither agree nor disagree, (4) disagree, (5) strongly disagree.

There are no right or wrong answers. We are simply interested in your opinions. Mark each answer on the special answer sheet. Questions 4 & 24 are slightly different and you should mark them as indicated.

### REMEMBER:

(1) strongly agree, (2) agree, (3) neither agree nor disagree, (4) disagree, (5) strongly disagree.

1. It is easier for children than adults to learn a foreign language.
2. Some people have a special ability for learning foreign languages.
3. Some languages are easier to learn than others.
4. Japanese is:
  - (a) a very difficult language
  - (b) a difficult language
  - (c) a language of medium difficulty
  - (d) an easy language
  - (e) a very easy language.
5. I want to learn about the culture behind the foreign language.
6. Teachers should take initiative of classroom activities.
7. I believe that I will learn to speak Japanese very well.
8. People from my country are good at learning foreign languages.
9. It is important to speak Japanese with an excellent pronunciation.
10. It is necessary to know about Japanese-speaking cultures in order to speak Japanese.
11. There are some expressions in every language that only native speakers can use well.
12. Teachers know better than you what is the most effective way for your own learning.
13. Homework should be given by teachers to the learners.
14. You shouldn't say anything in Japanese until you can say it correctly.
15. It is easier for someone who already speaks a foreign language to learn another one.
16. People who are good at mathematics or science are not good at learning foreign languages.

17. It is best to learn Japanese in Japan (where people speak Japanese).
18. When you study a foreign language, you'll get to learn not only about the foreign culture but you'll also understand your mother culture better.
19. It is a waste of time for learners to decide for themselves the lesson plans or schedule through discussion.
20. Some languages have world-wide prestige, while some don't.
21. Non-verbal errors are not important.
22. I enjoy practicing Japanese with the Japanese I meet.
23. It's o. k. to guess if you don't know a word in Japanese.
24. If someone spent one hour a day learning a language, how long would it take them to speak the language very well:
  - (a) less than a year
  - (b) 1–2 years
  - (c) 3–5 years
  - (d) 5–10 years
  - (e) You can't learn a language in 1 hour a day.
25. I have a special ability for learning foreign languages.
26. Non-verbal factors should be taken into account in language learning.
27. You will obey your teacher's advice even if it doesn't suit your favorite way.
28. It is impossible to learn a foreign language without a teacher.
29. The most important part of learning a foreign language is learning vocabulary words.
30. It is important to repeat and practice a lot.
31. Women are better than men at learning foreign languages.
32. People in my country feel that it is important to speak Japanese.
33. If you really want to be intimate with people of other tongues, you have to be able to speak their languages.
34. It is teacher's role that he or she directs and leads the class.
35. I feel timid speaking Japanese with other people.
36. If beginning students are permitted to make errors in Japanese, it will be difficult for them to speak correctly later on.
37. The most important part of learning a foreign language is learning the grammar.
38. I would like to learn Japanese so that I can get to know Japanese people better.
39. Private matters are not good topics to talk about in a language learning classroom.
40. If I should fail to make progress in language learning, teachers are to blame.

41. The evaluation of students should be done by teachers.
42. It's o. k. to speak in your mother tongue in the classroom if you can't make yourself understood in Japanese, provided your classmates understand it.
43. The difference of habits and customs between cultures should be taught in language classrooms.
44. It is easier to speak than understand a foreign language.
45. It is important to practice with cassettes or tapes.
46. Learning a foreign language is different than learning other academic subjects.
47. The most important part of learning Japanese is learning how to translate from my native language.
48. It is important to learn the background-language in order to understand a foreign culture.
49. You cannot learn languages without textbooks.
50. When you learn a foreign language, it is best to learn it from a native speaker.
51. If I learn Japanese very well, I will have better opportunities for a good job.
52. People who speak more than one language are very intelligent.
53. I want to learn to speak Japanese well.
54. I would like to have Japanese friends.
55. I would rather work on same learning activities as my peers do during the classwork.
56. It is difficult to learn a foreign language.
57. It would be interesting to learn a foreign language through topics that I am interested in.
58. Everyone can learn to speak a foreign language.
59. It is easier to read and write Japanese than to speak and understand it.
60. I would rather learn Japanese from a native speaking teacher than from a non-native speaker.
61. If I'd be very fluent in Japanese, it would be of great help to my speciality or majoring.
62. It is useless and meaningless to speak in Japanese between non-Japanese-natives.

[資料 1 - b]

B A L L I ANSWER SHEET

NAME \_\_\_\_\_

Mark the number as indicated in the example below:

ex. (1) (2) (3) (4) (5)

- |                         |                         |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. (1) (2) (3) (4) (5)  | 15. (1) (2) (3) (4) (5) | 29. (1) (2) (3) (4) (5) | 46. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 2. (1) (2) (3) (4) (5)  | 16. (1) (2) (3) (4) (5) | 30. (1) (2) (3) (4) (5) | 47. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 3. (1) (2) (3) (4) (5)  | 17. (1) (2) (3) (4) (5) | 31. (1) (2) (3) (4) (5) | 48. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 4. (1) (2) (3) (4) (5)  | 18. (1) (2) (3) (4) (5) | 32. (1) (2) (3) (4) (5) | 49. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 5. (1) (2) (3) (4) (5)  | 19. (1) (2) (3) (4) (5) | 33. (1) (2) (3) (4) (5) | 50. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 6. (1) (2) (3) (4) (5)  | 20. (1) (2) (3) (4) (5) | 34. (1) (2) (3) (4) (5) | 51. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 7. (1) (2) (3) (4) (5)  | 21. (1) (2) (3) (4) (5) | 35. (1) (2) (3) (4) (5) | 52. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 8. (1) (2) (3) (4) (5)  | 22. (1) (2) (3) (4) (5) | 36. (1) (2) (3) (4) (5) | 53. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 9. (1) (2) (3) (4) (5)  | 23. (1) (2) (3) (4) (5) | 37. (1) (2) (3) (4) (5) | 54. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 10. (1) (2) (3) (4) (5) | 24. (1) (2) (3) (4) (5) | 38. (1) (2) (3) (4) (5) | 55. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 11. (1) (2) (3) (4) (5) | 25. (1) (2) (3) (4) (5) | 39. (1) (2) (3) (4) (5) | 56. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 12. (1) (2) (3) (4) (5) | 26. (1) (2) (3) (4) (5) | 40. (1) (2) (3) (4) (5) | 57. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 13. (1) (2) (3) (4) (5) | 27. (1) (2) (3) (4) (5) | 41. (1) (2) (3) (4) (5) | 58. (1) (2) (3) (4) (5) |
| 14. (1) (2) (3) (4) (5) | 28. (1) (2) (3) (4) (5) | 42. (1) (2) (3) (4) (5) | 59. (1) (2) (3) (4) (5) |
|                         |                         | 43. (1) (2) (3) (4) (5) | 60. (1) (2) (3) (4) (5) |
|                         |                         | 44. (1) (2) (3) (4) (5) | 61. (1) (2) (3) (4) (5) |
|                         |                         | 45. (1) (2) (3) (4) (5) | 62. (1) (2) (3) (4) (5) |

[資料2] BALLI項目の領域別分類表

(1) 「言語学習の適性」に関する項目 (項目No: 1、2、8、15、16、25、31、52、58)

1. It is easier for children than adults to learn a foreign language.
2. Some people have a special ability for learning foreign languages.
8. People from my country are good at learning foreign languages.
15. It is easier for someone who already speaks a foreign language to learn another one.
16. People who are good at mathematics or science are not good at learning foreign languages.
25. I have a special ability for learning foreign languages.
31. Women are better than men at learning foreign languages.
52. People who speak more than one language are very intelligent.
58. Everyone can learn to speak a foreign language.

(2) 「言語学習の難易度」に関する項目 (項目No: 3、4、7、24、56)

3. Some languages are easier to learn than others.
4. Japanese is:
  - (a) a very difficult language
  - (b) a difficult language
  - (c) a language of medium difficulty
  - (d) an easy language
  - (e) a very easy language.
7. I believe that I will learn to speak Japanese very well.
24. If someone spent one hour a day learning a language, how long would it take them to speak the language very well:
  - (a) less than a year
  - (b) 1-2 years
  - (c) 3-5 years
  - (d) 5-10 years
  - (e) You can't learn a language in 1 hour a day.
56. It is difficult to learn a foreign language.

(3) 「言語学習の性質」に関する項目 (項目No: 10、17、21、26、29、37、44、46、47)

10. It is necessary to know about Japanese-speaking culture in order to speak Japanese.

- 17. It is best to learn Japanese in Japan (where people speak Japanese).
- 21. Non-verbal errors are not important.
- 26. Non-verbal factors should be taken into account in language learning.
- 29. The most important part of learning a foreign language is learning vocabulary words.
- 37. The most important part of learning a foreign language is learning the grammar.
- 44. It is easier to speak than understand a foreign language.
- 46. Learning a foreign language is different than learning other academic subjects.
- 47. The most important part of learning Japanese is learning how to translate from my native language.

(4) 「コミュニケーション・ストラテジー」に関する項目 (項目No: 9、14、22、23、30、35、36、45)

- 9. It is important to speak Japanese with an excellent pronunciation.
- 14. You shouldn't say anything in Japanese until you can say it correctly.
- 22. I enjoy practicing Japanese with the Japanese I meet.
- 23. It's o.k. to guess if you don't know a word in Japanese.
- 30. It is important to repeat and practice a lot.
- 35. I feel timid speaking Japanese with other people.
- 36. If beginning students are permitted to make errors in Japanese, it will be difficult for them to speak correctly later on.
- 45. It is important to practice with cassettes or tapes.

(5) 「言語学習の動機」に関する項目 (項目No: 32、51、53、54、61)

- 32. People in my country feel that it is important to speak Japanese.
- 51. If I learn Japanese very well, I will have better opportunities for a good job.
- 53. I want to learn to speak Japanese well.
- 54. I would like to have Japanese friends.
- 61. If I'd be very fluent in Japanese, it would be of great help to my speciality or majoring.

[資料3] 領域別BALLI集計結果

(1) 「言語学習の適性」に関する項目

学生コード	国	Apt. 01	Apt. 02	Apt. 08	Apt. 15	Apt. 16	Apt. 25	Apt. 31	Apt. 52	Apt. 58
A91S03	インド	1	1	2	2	4	4	2	3	2
A91S09	インドネシア	1	2	3	4	2	3	4	4	2
A91S11	インドネシア	1	1	2	4	1	2	1	2	2
A91S19	インドネシア	1	2	2	4	4	3	5	3	1
A91S20	インドネシア	2	2	2	4	4	2	4	3	2
A91S01	フィリピン	2	1	1	2	5	2	5	3	1
A91S17	フィリピン	2	1	3	2	3	4	5	3	2
A91S05	タイ	3	2	2	3	3	3	3	3	2
A91S13	タイ	2	2	3	4	5	3	3	4	4
A91S14	タイ	3	1	2	4	4	4	3	2	1
A91S18	タイ	4	3	3	1	5	3	4	3	2
A91S15	ミャンマー	2	2	2	4	3	3	3	3	2
A91S10	ベトナム	1	1	3	1	5	4	3	2	4
A91S04	ブラジル	1	1	2	3	5	3	3	4	4
A91S06	ブラジル	3	2	3	4	3	—	3	2	2
A91S16	ブラジル	1	1	3	2	3	3	3	4	2
A91S12	アルゼンチン	1	1	2	1	5	2	4	1	2
A91S21	メキシコ	2	2	3	4	3	4	4	3	2
A91S07	アメリカ	1	1	3	1	5	2	3	3	1
A91S08	ドイツ	1	1	4	1	4	2	5	1	4
A91S22	イスラエル	1	2	3	1	5	4	5	2	2
A91S02	ガーナ	1	1	3	3	3	3	3	4	1
A91A01	タイ	2	2	3	5	5	2	4	5	1
A91A02	フィリピン	2	2	2	2	4	4	3	4	1
A91A03	スリランカ	2	2	2	2	2	3	2	4	3
A91A04	ブラジル	1	1	2	2	4	3	5	3	1
A91A05	ポリヴィア	2	2	3	2	4	2	5	4	2
A91A06	オランダ	3	4	3	3	5	4	5	5	2
A92S01	インド	1	2	3	3	5	3	3	4	2
A92S02	インドネシア	2	2	3	3	3	3	3	2	2
A92S03	インドネシア	1	1	2	2	4	2	3	1	2
A92S04	インドネシア	2	2	3	4	4	4	4	2	2
A92S05	フィリピン	1	2	3	3	3	3	4	2	2
A92S06	フィリピン	1	2	2	3	4	3	4	4	2
A92S07	フィリピン	2	2	1	4	5	2	2	2	2
A92S08	タイ	2	2	3	3	4	4	3	3	2
A92S09	タイ	2	1	3	3	4	3	4	3	4
A92S10	ブータン	1	2	3	4	3	4	3	3	2
A92S11	ミャンマー	2	2	2	3	5	2	3	2	3
A92S12	ブラジル	1	2	2	1	4	2	3	4	2
A92S13	ブラジル	2	3	3	2	4	3	3	5	1
A92S14	グアテマラ	1	3	4	4	5	3	5	4	4
A92S15	メキシコ	2	2	4	2	5	2	5	2	4
A92S16	アルバニア	2	2	2	2	4	34	4	3	2
A92S17	ロシア	1	1	5	1	5	2	3	3	2
A92S18	トルコ	2	2	3	2	4	3	5	3	4

## (2) 「言語学習の難易度」に関する項目

学生コード	国	Dif. 03	Dif. 04	Dif. 07	Dif. 24	Dif. 44	Dif. 56
A91S03	インド	3	3	3	2	4	2
A91S09	インドネシア	4	1	2	1	3	3
A91S11	インドネシア	1	2	1	3	2	4
A91S19	インドネシア	4	2	1	5	3	4
A91S20	インドネシア	2	1	1	2	2	2
A91S01	フィリピン	1	1	1	3	4	1
A91S17	フィリピン	2	2	3	3	3	2
A91S05	タイ	2	3	2	3	3	3
A91S13	タイ	2	2	2	3	4	3
A91S14	タイ	1	2	4	4	3	2
A91S18	タイ	2	1	2	2	2	2
A91S15	ミャンマー	2	2	3	2	2	3
A91S10	ベトナム	2	—	2		3	3
A91S04	ブラジル	1	1	1		1	3
A91S06	ブラジル	2	3	2	3	4	3
A91S16	ブラジル	1	1	3	3	4	1
A91S12	アルゼンチン	1	2	1	2	4	4
A91S21	メキシコ	4	2	3	2	4	2
A91S07	アメリカ	1	1	4	2	5	1
A91S08	ドイツ	5	2	3	4	5	2
A91S22	イスラエル	2	1	3	5	2	2
A91S02	ガーナ	1	2	2	1	4	3
A91A01	タイ	1	2	2	3	4	4
A91A02	フィリピン	1	2	2	4	4	2
A91A03	スリランカ	2	2	2	1	2	2
A91A04	ブラジル	4	2	3	3	3	4
A91A05	ボリビア	2	2	2	2	3	4
A91A06	オランダ	3	3	1	4	3	2
A92S01	インド	2	3	1	5	4	4
A92S02	インドネシア	2	2	1	2	3	3
A92S03	インドネシア	1	2	2	4	2	3
A92S04	インドネシア	2	2	1	5	3	2
A92S05	フィリピン	3	2	2	2	2	2
A92S06	フィリピン	2	2	2	2	1	4
A92S07	フィリピン	2	2	1	2	4	2
A92S08	タイ	2	2	2	2	3	3
A92S09	タイ	2	2	2	3	4	3
A92S10	ブータン	2	2	3	2	4	2
A92S11	ミャンマー	2	3	2	2	4	3
A92S12	ブラジル	2	3	1	3	4	2
A92S13	ブラジル	4	3	1	2	4	3
A92S14	グアテマラ	2	2	2	2	3	2
A92S15	メキシコ	2	2	1	5	5	5
A92S16	アルバニア	1	1	1	1	4	5
A92S17	ロシア	2	2	3	4	5	2
A92S18	トルコ	1	2	4	5	2	2

## (3) 「言語学習の性質」に関する項目

学生コード	国	Nat. 10	Nat. 17	Nat. 21	Nat. 26	Nat. 29	Nat. 37	Nat. 46	Nat. 47
A91S03	インド	4	1	4	2	2	1	2	4
A91S09	インドネシア	2	2	4	2	3	3	2	2
A91S11	インドネシア	1	2	1	3	1	2	1	2
A91S19	インドネシア	1	5	4	1	3	4	1	5
A91S20	インドネシア	2	1	2	2	2	1	2	1
A91S01	フィリピン	1	1	5	1	2	2	4	4
A91S17	フィリピン	2	1	3	2	3	2	2	1
A91S05	タイ	2	1	4	3	2	2	3	2
A91S13	タイ	2	1	4	3	3	3	3	4
A91S14	タイ	1	1	2	2	2	2	1	2
A91S18	タイ	2	1	3	3	3	4	4	2
A91S15	ミャンマー	1	2	3	2	4	4	4	4
A91S10	ベトナム	2	1	4	3	3	3	2	3
A91S04	ブラジル	3	1	5	1	3	3	1	5
A91S06	ブラジル	3	3	2	3	2	2	2	—
A91S16	ブラジル	4	1	4	2	3	3	4	1
A91S12	アルゼンチン	2	1	5	1	2	2	1	4
A91S21	メキシコ	1	1	4	1	4	3	2	4
A91S07	アメリカ	1	1	3	3	3	2	1	2
A91S08	ドイツ	1	1	5	1	1	5	5	1
A91S22	イスラエル	3	1	4	5	3	3	3	5
A91S02	ガーナ	3	1	4	1	1	2	4	3
A91A01	タイ	1	1	5	1	4	4	2	5
A91A02	フィリピン	2	1	3	1	4	4	2	5
A91A03	スリランカ	2	4	2	2	4	4	4	4
A91A04	ブラジル	2	1	4	2	5	4	2	5
A91A05	ボリヴィア	2	1	4	2	4	2	4	4
A91A06	オランダ	3	1	4	2	4	4	2	3
A92S01	インド	1	1	—	—	2	3	4	4
A92S02	インドネシア	2	1	3	3	3	3	2	3
A92S03	インドネシア	1	1	4	2	1	2	2	2
A92S04	インドネシア	2	1	4	3	4	4	2	4
A92S05	フィリピン	3	1	5	2	3	2	2	2
A92S06	フィリピン	3	1	4	1	2	3	3	2
A92S07	フィリピン	2	1	5	2	2	1	1	3
A92S08	タイ	2	1	4	2	2	1	3	4
A92S09	タイ	2	1	4	2	3	4	4	4
A92S10	ブータン	3	2	3	2	4	4	2	4
A92S11	ミャンマー	1	1	4	4	2	2	2	2
A92S12	ブラジル	2	1	4	3	1	3	2	4
A92S13	ブラジル	2	1	4	4	2	2	4	1
A92S14	グアテマラ	2	2	4	5	3	2	2	4
A92S15	メキシコ	4	1	5	2	4	1	4	5
A92S16	アルバニア	4	1	2	4	5	1	2	4
A92S17	ロシア	2	1	2	2	3	3	1	3
A92S18	トルコ	4	1	5	2	3	1	2	4

## (4) 「コミュニケーション・ストラテジー」に関する項目

学生コード	国	Str. 09	Str. 14	Str. 22	Str. 23	Str. 30	Str. 35	Str. 36	Str. 45
A91S03	インド	1	4	2	2	2	5	2	2
A91S09	インドネシア	2	4	2	2	1	5	2	1
A91S11	インドネシア	3	1	1	3	1	3	5	1
A91S19	インドネシア	1	5	1	1	1	1	1	2
A91S20	インドネシア	2	4	2	2	1	2	1	1
A91S01	フィリピン	1	5	1	2	1	5	4	1
A91S17	フィリピン	3	4	2	3	2	3	3	2
A91S05	タイ	2	4	2	2	2	3	3	2
A91S13	タイ	2	4	3	2	2	4	2	3
A91S14	タイ	2	4	2	4	1	4	2	1
A91S18	タイ	1	5	2	3	1	4	1	2
A91S15	ミャンマー	3	4	3	3	2	1	2	4
A91S10	ベトナム	2	5	1	2	1	4	2	1
A91S04	ブラジル	2	4	3	1	1	1	1	
A91S06	ブラジル	3	3	2	2	2	3	2	2
A91S16	ブラジル	3	5	2	2	1	4	2	2
A91S12	アルゼンチン	2	4	1	1	1	1	4	1
A91S21	メキシコ	1	5	2	2	1	4	5	3
A91S07	アメリカ	2	5	2	1	1	2	2	3
A91S08	ドイツ	2	5	1	1	1	3	5	5
A91S22	イスラエル	3	5	2	1	1	4	4	2
A91S02	ガーナ	1	5	1	3	1	2	1	2
A91A01	タイ	4	5	2	1	1	5	1	2
A91A02	フィリピン	2	4	2	1	1	3	1	2
A91A03	スリランカ	3	4	3	3	2	3	3	2
A91A04	ブラジル	3	4	2	2	1	4	3	2
A91A05	ボリビア	2	4	3	3	2	4	4	3
A91A06	オランダ	2	4	1	4	1	1	5	2
A92S01	インド	1	5	1	5	1	5	4	2
A92S02	インドネシア	2	3	2	3	1	4	4	2
A92S03	インドネシア	1	4	1	4	1	4	1	2
A92S04	インドネシア	2	3	2	4	1	2	4	2
A92S05	フィリピン	2	4	2	4	1	4	2	2
A92S06	フィリピン	1	5	3	1	1	2	4	1
A92S07	フィリピン	1	4	1	2	1	4	4	4
A92S08	タイ	3	3	3	3	2	3	2	2
A92S09	タイ	2	4	3	2	2	2	4	1
A92S10	ブータン	2	4	2	4	2	2	4	2
A92S11	ミャンマー	1	3	2	4	2	4	4	2
A92S12	ブラジル	2	3	1	2	2	2	4	2
A92S13	ブラジル	3	4	1	5	1	2	1	2
A92S14	グアテマラ	1	5	1	5	1	3	4	2
A92S15	メキシコ	2	5	2	5	1	5	1	1
A92S16	アルバニア	2	4	1	2	1	3	1	2
A92S17	ロシア	2	5	3	2	1	3	4	1
A92S18	トルコ	1	2	2	4	1	2	4	2

## (5)「言語学習の動機」に関する項目

学生コード	国	Mot. 32	Mot. 51	Mot. 53	Mot. 54	Mot. 61
A91S03	インド	5	4	1	1	3
A91S09	インドネシア	4	3	2	1	3
A91S11	インドネシア	1	2	1	1	1
A91S19	インドネシア	3	3	1	1	1
A91S20	インドネシア	3	2	1	1	1
A91S01	フィリピン	3	1	1	1	1
A91S17	フィリピン	2	2	1	1	2
A91S05	タイ	3	3	2	2	3
A91S13	タイ	4	3	3	3	3
A91S14	タイ	3	1	2	2	1
A91S18	タイ	3	2	2	2	2
A91S15	ミャンマー	3	4	2	2	2
A91S10	ベトナム	3	2	1	1	1
A91S04	ブラジル	4	1	1	1	1
A91S06	ブラジル	4	4	2	2	2
A91S16	ブラジル	4	2	1	1	2
A91S12	アルゼンチン	4	1	1	1	1
A91S21	メキシコ	5	4	1	1	1
A91S07	アメリカ	3	2	2	2	3
A91S08	ドイツ	5	1	1	1	1
A91S22	イスラエル	5	2	1	1	3
A91S02	ガーナ	3	3	1	1	3
A91A01	タイ	2	1	1	1	1
A91A02	フィリピン	4	1	1	1	2
A91A03	スリランカ	2	4	2	2	1
A91A04	ブラジル	2	1	1	1	1
A91A05	ボリビア	4	2	1	1	2
A91A06	オランダ	3	2	1	12	1
A92S01	インド	5	3	1	1	1
A92S02	インドネシア	3	2	1	2	2
A92S03	インドネシア	2	3	1	1	1
A92S04	インドネシア	3	2	1	1	1
A92S05	フィリピン	2	1	1	1	1
A92S06	フィリピン	2	2	1	1	1
A92S07	フィリピン	3	2	1	1	2
A92S08	タイ	3	3	2	2	2
A92S09	タイ	4	2	1	2	1
A92S10	ブータン	3	2	2	2	1
A92S11	ミャンマー	3	2	1	2	2
A92S12	ブラジル	2	2	1	1	1
A92S13	ブラジル	2	3	1	2	1
A92S14	グアテマラ	3	4	1	1	1
A92S15	メキシコ	2	3	1	1	1
A92S16	アルバニア	3	1	1	1	2
A92S17	ロシア	4	1	1	1	3
A92S18	トルコ	4	2	1	1	2

NAME \_\_\_\_\_

APTITUDE

1. ( ) It is easier for children than adults to learn a foreign language.
2. ( ) Some people have a special ability for learning foreign languages.
8. ( ) People from my country are good at learning foreign languages.
15. ( ) It is easier for someone who already speaks a foreign language to learn another one.
16. ( ) People who are good at mathematics or science are not good at learning foreign languages.
25. ( ) I have a special ability for learning foreign languages.
31. ( ) Women are better than men at learning foreign languages.
52. ( ) People who speak more than one language are very intelligent.
58. ( ) Everyone can learn to speak a foreign language.

MOTIVATION

32. ( ) People in my country feel that it is important to speak Japanese.
38. ( ) I would like to learn Japanese so that I can get to know Japanese people better.
51. ( ) If I learn Japanese very well, I will have better opportunities for a good job.

53. ( ) I want to learn to speak Japanese well.

54. ( ) I would like to have Japanese friends.

61. ( ) If I'd be very fluent in Japanese, it would be of great help to my speciality or majoring.

## CULTURE

5. ( ) I want to learn about the culture behind the foreign language.

10. ( ) It is necessary to know about Japanese-speaking culture in order to speak Japanese.

11. ( ) There are some expressions in every language that only native speakers can use well.

18. ( ) When you study a foreign language, you'll get to learn not only about the foreign culture but you'll also understand your mother culture better.

33. ( ) If you really want to be intimate with people of other tongues, you have to be able to speak their languages.

43. ( ) The difference of habits and customs between cultures should be taught in language classrooms.

48. ( ) It is important to learn the background-language in order to understand a foreign culture.